

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	次長	主査	主査	担当								文書取扱主任	

第 41 回 厚生常任委員会 会議録

開催年月日	平成 22 年 8 月 27 日 (金曜日)	開会 13 時 30 分	閉会 16 時 00 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	山口、荒木、渡辺、堀、酒井、堀田	事務局	中嶋事務局長
	委員外～窪之内		田湯次長
欠席委員	なし		寺嶋主査
説明員	別紙のとおり	議件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	(1) 新滝川市活力再生プラン平成 21 年度実績報告について		
	(2) 滝川市立病院改革プラン推進委員会開催結果報告について		
	(3) 地域医療研修生の受け入れ経過報告について		
	(4) 新滝川市活力再生プラン平成 21 年度実績報告について		
	(5) 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算について		
	(6) 平成 21 年度コミュニティ施設管理代行負担金決算状況について		
	(7) 平成 22 年度まちづくり懇談会の開催日程について		
	(8) 「未来へつなぐ市民税 1%事業」の審査結果について		
	(9) 古紙類の収集状況について		
	(10) 石狩川流域下水道におけるし尿等共同処理について		
	(11) 中・北空知廃棄物処理広域連合の状況について		
	○ 戸籍における 100 歳以上の高齢者について		
	(12) 新滝川市活力再生プラン平成 21 年度実績報告について		
	(13) 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算について		
	(14) 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算について		
	(15) 平成 22 年度滝川市介護保険特別会計補正予算について		
	(16) 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算について		
(17) 中央保育所病後児保育室の開設について			
(18) こんにちは赤ちゃん訪問事業について			
2 第 3 回定例会以降の調査事項について			
別紙調査事項のとおりとすることに決定した。			

議 事 の 概 要	3 その他について
	(1) 請願第8号「子宮頸がん予防ワクチン接種の国費助成を求める要望意見書」の採択をを求める請願書の取り下げについて
	山口委員長より、請願の取り下げの経過について報告があった。
	4 次回委員会の日程について
	正副委員長に一任することとした。
	上記記載のとおり相違ない。 厚生常任委員長 山口清悦 ㊦

平成22年8月25日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

厚生常任委員会への説明員の出席について

平成22年8月4日付け滝議第79号で通知のありました厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いいたします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いいたします。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部長	吉 井 裕 視
総務部行政経営課長	松 澤 公 和
総務部行政経営課副主幹	浦 川 学 央
市民生活部次長	伊 藤 克 之
市民生活部くらし支援課長	深 瀬 文 彦
市民生活部くらし支援課主幹	庄 野 雅 洋
市民生活部くらし支援課主幹	樋 郡 真 澄
市民生活部くらし支援課副主幹	山 川 弘 己
市民生活部くらし支援課主査	橋 本 英 昭
市民生活部くらし支援課主査	伊 藤 貴 寛
市民生活部くらし支援課主査	運 上 琢 論
市民生活部くらし支援課主任級主事	小笠原 涼 介
市民生活部くらし支援課まちづくりセンター副主幹	千 葉 豊
市民生活部市民課長	榎 木 康 人
市民生活部市民課主幹	寺 崎 りえ子
市民生活部市民課副主幹	杉 原 慶 紀
保健福祉部長	橋 弘 恭
保健福祉部次長	佐々木 哲
保健福祉部福祉課長	国 嶋 隆 雄
保健福祉部福祉課副主幹	谷 本 敏 史
保健福祉部子育て応援課副主幹	伊 藤 澄 江
保健福祉部介護福祉課長	菊 井 弘 志
保健福祉部介護福祉課主幹	渡 辺 多 恵
保健福祉部介護福祉課副主幹	高 田 和 昌
保健福祉部健康づくり課長	金 野 正 博
保健福祉部健康づくり課主幹	織 田 恵 子
保健福祉部健康づくり課副主幹	鈴 木 治

市立病院事務部長

東 照 明

(総務部総務課総務グループ)

第41回 厚生常任委員会

H22. 8. 27(金) 13:30
第一委員会室

○開 会

○委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《市立病院》

- (1) 新滝川市活力再生プラン平成21年度実績報告について (資料) 市立病院
- (2) 滝川市立病院改革プラン推進委員会開催結果報告について (資料) 事務課
- (3) 地域医療研修生の受け入れ経過報告について (口頭) //

《市民生活部》

- (4) 新滝川市活力再生プラン平成21年度実績報告について (資料) 市民生活部
- (5) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について (資料) 暮らし支援課
- (6) 平成21年度コミュニティ施設管理代行負担金決算状況について (資料) //
- (7) 平成22年度まちづくり懇談会の開催日程について (資料) //
- (8) 「未来へつなぐ市民税1%事業」の審査結果について (資料) //
- (9) 古紙類の収集状況について (資料) //
- (10) 石狩川流域下水道におけるし尿等共同処理について (資料) //
- (11) 中・北空知廃棄物処理広域連合の状況について (資料) //

《保健福祉部》

- (12) 新滝川市活力再生プラン平成21年度実績報告について (資料) 保健福祉部
- (13) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について (資料) 健康づくり課
- (14) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について (資料) 福祉課
- (15) 平成22年度滝川市介護保険特別会計補正予算について (資料) 介護福祉課
- (16) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について (資料) 子育て応援課
- (17) 中央保育所病後児保育室の開設について (資料) //
- (18) こんにちは赤ちゃん訪問事業について (資料) //

2. 第3回定例会以降の調査事項について～別紙

3. その他について

- (1) 請願第8号「子宮頸がん予防ワクチン接種の国費助成を求める要望意見書」の採択を求める請願書の取り下げについて

4. 次回委員会の日程について

○閉 会

第 41 回 厚生常任委員会

H22. 8. 27(金) 13時30分

第一委員会室

開 会 13:30

委員動静報告

- 委員 長 全員出席。委員外～窪之内。プレス空知の傍聴を許可する。
- 委員 長 1 所管からの報告事項について
新滝川市活力再生プラン平成 21 年度実績報告の概要について、総務部より説明がある。
- 吉井部長 委員 長 (別紙資料に基づき説明する。)
説明が終わった。全体についての質疑を受ける。質疑はあるか。(なし) この件については報告済みとする。(1)について説明願う。
- 東 部 長 委員 長 (1) 新滝川市活力再生プラン平成 21 年度実績報告について
(別紙資料に基づき説明する。)
説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (1)については報告済みとする。(2)について説明願う。
- 東 部 長 委員 長 (2) 滝川市立病院改革プラン推進委員会開催結果報告について
(別紙資料に基づき説明する。)
説明が終わった。質疑はあるか。
一番大切なのは、意見交換で出た意見等をどう生かしていくかで、それ以前の数字的なものはこの資料でも示されているので、この委員会の中で具体的にどういったことをしていくのか。単に説明するだけなら会の必要性をほとんど感じない。こうした視点で見てもらってそれを生かしていくという具体策があると思うので示していただきたい。
- 東 部 長 今回、総務省から第三者を含めた点検評価をなささいということでの趣旨があつてつくることになったが、単に点検評価で終わらせるのではなく、市立病院の部分、さらに市内の医療、福祉、介護などについてより積極的な意見交換をしていきたい。そうすることで市立病院に関心を持っていただき、応援団になっていただければと期待している。意見交換の中でも、市民の方の中でいろいろな形で病院について前向きな意見交換をできるように、あるいは応援団的な要素を含んだ組織をつくってはどうかという意見もあったので、そういう方向に近づける努力をしていきたいと考えている。
- 委員 長 他に質疑はあるか。
- 窪之内委員外議員 点検評価を行うために改正された推進委員会のメンバーを見ると、市役所以外は団体推薦という形になっている。団体推薦が悪いと言っているのではないが、これらの団体を選んだ理由と団体推薦の場合、役職が変わると人がかわるといふ心配がないのか伺う。団体に推薦されるときに、その団体の会長あるいは副会長という制約を設けて推薦してもらおうとしているのか、それとも団体の中でこういう改革プランに対して積極的に考え、発言される人たちを広い目で見て団体として推薦してほしいとお願いしているのか伺う。
- 東 部 長 どういう団体に推薦をお願いするのかということではいろいろ悩んだが、やはり市立病院にいろいろと関係のあるところに参加していただくのがいいということで市内の医療、福祉、介護の連携ということも視点に入れると医師会は外

せないと思ったし、地元の高齢化が進んでおり、病院にかかる受診者の方も多
いということ、そういった市民の方を多く抱える団体ということで、例えば町
連協や老人クラブ等をお願いした。また、半分くらいの方は女性をお願いした
いということで、病院にも関心を持っていただいたり、日常的に活発に活動さ
れている女性団体ということでお願いした。この辺については意見もあるかと
思うが、そういう視点から選ばせていただいた。こちらから特定の個人を選
ぶより団体としていろいろな立場があるだろうということから、幅広く意見を
いただくために団体推薦をお願いした。その場合に会長や副会長の役職とい
うことではなく、今後も続くのでできれば継続して参加していただける方とい
う趣旨で話をしたが、結果的には会長、副会長が圧倒的に多かった。団体推
薦をお願いした関係で団体の代表として来られるということでこの辺はやむを
得ないと思うが、できれば継続して参加していただきたいという希望は伝
えてある。

窪之内委員外議員

そういう形で推薦されてきた団体の代表の方は、団体推薦として来た以上は
その所属団体にいろいろと報告してほしい。例えば町連協でいえばこういう
ことがあったということを役員会の中で報告し、単位町内会に報告するという
仕組みがなければ全くの個人的な対応だけに終わる可能性がある。ぜひそ
ういった意味で団体推薦で来られた方には各団体に点検評価したことを報
告するよう求めていただきたいがいかがか。

東部長

それぞれの団体にそういう趣旨は説明させていただいた。特に町連協の副
会長からは、町連協の役員会で報告しなければいけないのでということで
質問もあったということである。

委員長

私も町連協の役員だが報告を受けている。(2)については報告済みとする。
(3)について説明願う。

(3) 地域医療研修生の受け入れ経過報告について

東部長

これは本会議で質問のあった中で答弁させていただいた経過がある。昭
和大学からの初級研修員の受け入れ関係ということで、関藤議員にいろ
いろ骨折りいただいているところだが、前向きに検討していくことでや
っていきたい。ことしの8月11日から関藤議員が上京した折に再度寄
っていただいたところだが、その結果として当院で今求められている
のは、9月いっぱいまでにこの1カ月くらいの初級研修で、身分とし
ては大学の職員として来るので給料等の心配は要らないが、住居の
部分を提供できるかどうか、交通費、時間外の支給をできるかどう
かについての条件提示をしてほしいということなので、前向きに検討
したいと思っているところである。これを9月くらいに出すと研修
プログラムの提示が大学からあり、10月、11月くらいにその辺の
詰めをして大学側としては協定、調印をしたいということである。
本会議でもお話ししたがこれが直ちに医師確保につながるという
ことではないが、いろいろな形でのつながりを大事にしていくことで
その可能性が少しでも生まれればということで、来年は引越等もある
のでたくさんのニーズは一度には無理だが対応していきたいと考
えている。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) (3)については報告済みとする。(4)につ
いて説明願う。

(4) 新滝川市活力再生プラン平成21年度実績報告について

伊藤部次長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (4)については報告済みとす
る。(5)

について説明願う。

(5) 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算について

深瀬課長
橋本主査
庄野主幹
委員長
窪之内委員外議員

(別紙資料に基づき説明する。)

(別紙資料に基づき説明する。)

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。

資料 1-1 の資源にやさしいまちづくりの講師はフランス在住ということで、フランスからの旅費を含めた金額なのか。そこに旅費をかけるより少ない旅費で適当な方がいたのではないか。その旅費の内容について確認したい。

橋本主査
委員長

三上さんはこの時期にちょうど帰国されており、実家の千葉からの旅費になる。他に質疑はあるか。(なし) (5) については報告済みとする。(6) について説明願う。

(6) 平成 21 年度コミュニティ施設管理代行負担金決算状況について

樋郡主幹
委員長
渡 辺
樋郡主幹
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わった。質疑はあるか。

この決算状況は 9 月の決算審査特別委員会の資料のどこに出るのか。

事務概要に金額と件数を掲載している。

他に質疑はあるか。(なし) (6) については報告済みとする。(7) について説明願う。

(7) 平成 22 年度まちづくり懇談会の開催日程について

深瀬課長
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (7) については報告済みとする。(8) について説明願う。

(8) 「未来へつなぐ市民税 1%事業」の審査結果について

千葉副所長
委員長
渡 辺

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わった。質疑はあるか。

① この時期は、各地区の盆踊りが多くなると思うが、毎年同じことが行われることになれば、年中行事が対象ではないが来年はもっと出てくるのではないかと思う。このことについてどのように考えているのか伺う。

② 盆踊りの補助金額が多いところもあるが、どこにお金がかかるのか。それぞれの主催団体によって違うと思うが、やはり景品が多いと思う。食品を含む景品についてどのように考えているのか伺う。

③ 決算報告を求めるのかどうか伺う。

千葉副主幹

① この事業の制度としては、最長 3 年間の補助期限で毎年申請していただくことになっており、審査員の中から盆踊りのあり方について、今後補助をどのような扱いにしていくのかという意見もあるので詰めていきたい。

② 補助の要綱の中でも食糧費、景品等は該当しないとなっているので、対象事業の経費からは外している。地区によって大小はあると思うが、補助金の対象とはしていない。

③ 補助金の支出ということなので、当然決算報告を求めることで考えている。また、決算報告にあわせて各事業が終わった段階で市民の方への公開報告会の実施も考えている。

委員長
窪之内委員外議員

他に質疑はあるか。

14 番のたきかわ子ども地域活動実行委員会は、初めて聞く団体名である。もと

もととんでん冬まつりは江部乙でやっけていて子供向けの盆踊りもやっけていたが、地域としては江部乙地域と考えていいのか伺う。

千葉副所長 江部乙の農村部と町場の青年部の方々が組織をつくり、実行委員会ということで夏の盆踊り、冬のとんでん祭りを実施したいとの申請を受けている。

委員長 他に質疑はあるか。(なし) (8)については報告済みとする。(9)について説明願う。

(9) 古紙類の収集状況について
(別紙資料に基づき説明する。)

庄野主幹 説明が終った。質疑はあるか。

委員長 酒 井 拠点回収施設受け入れ分については例年並みで変わらないということだが、今回の古紙類収集の実績は、当初見込み量よりも少なかったということで確認してよいか伺う。

庄野主幹 拠点回収というのは各自持ち込んでいただく場所だが、月によってばらつきがある。まだ古紙回収そのものは1カ月しかたっていないので、何の影響で見込み量より少ないのかまではまだ分析ができていない状況である。集団資源回収の数字がはっきりしてくれば、おおよそ1年くらいかかるかもしれないが、ほかの要素も含めないと古紙回収の状況はつかめないのではないかと考えている。

酒 井 集団資源回収に出す人はしっかり出す人だけで、それ以外の部分をこれで補うのが一番の目的だと思うので、今後1年後に分析もされるということで、その点を注意深く見ていただきたい。目的としては集団資源回収が大切というか第一義的であって、一般ごみに捨ててしまう方にもできるようにということが一番の目的なので、注意深く見ていただきたい。

委員長 他に質疑はあるか。

窪之内委員外議員 江部乙地域はどれだけ集団資源回収が行われているのか。私の町内は行っていないが、ダンボールなども出せるということで、収集日に合わせて回収業者が回ってくるので、そういった意味ではそこに出してしまうと市のほうの数には入らない。そういう関係からの数字が出てくると全体の数字も出てくると思う。集団資源回収の場合はダンボールについては多分収集していると思うが、個別に回ってくる業者はダンボールを引き受けてくれない。それは業者に任せられていることで、単価との関係で例えば回ってくる業者についてもダンボールを引き受けるように指導することが可能なのか伺う。

庄野主幹 集団資源回収でもダンボールの回収を行っている。各団体への指導も必要かもしれないので、団体も収集する際にはその辺の確認をしていただければと思う。個人の業者は、集団資源回収とは別に回ってくるということで、その件については私どものほう、あるいは町内会でもその辺のやりとりは直接的には行っていない。

委員長 他に質疑はあるか。(なし) (9)については報告済みとする。(10)について説明願う。

(10) 石狩川流域下水道におけるし尿等共同処理について
(別紙資料に基づき説明する。)

庄野主幹 説明が終った。質疑はあるか。

委員長 渡 辺 ① 雨竜町と月形町が加わるということだが、今までの月形町と雨竜町の処理の経過、現状について説明願う。

② 2つの町が加わることで建設費の概算の6億3,000万円との関係がどうな

- のか伺う。
- 庄野主幹 ① 資料の中にもあるが、協議会に入っていない雨竜町は、現状は中空知衛生センターの組合の中でし尿を処理している。月形町は美唄市立し尿処理場に事務委託をして処理を進めている。
- 委員 長 ② 建設費、維持管理費は、この2町も含めた中での施設整備の数字ということで今の段階では聞いている。
- 酒 井 他に質疑はあるか。
- 深瀬課長 中空知衛生センターの設計時での耐用年数を伺う。
- 手元に資料がないが、建物としては鉄筋コンクリート構造物なので50年くらいの耐用年数になると思うが、し尿処理場ということでかなり塩素等に触れる部分もあるので、金属部分はどんどん更新していかなければならない。そういった部分の耐用年数は7～10年くらいだと思う。これまでも修繕を重ねてきたが、古くなるに従って修繕費用がかさんでいくこともあり、こうした検討に入っているという経過である。
- 委員 長 他に質疑はあるか。(なし) (10) については報告済みとする。(11) について説明願う。
- (11) 中・北空知廃棄物処理広域連合の状況について
- 庄野主幹 (別紙資料に基づき説明する。)
- 委員 長 説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (11) については報告済みとする。次に次第にはないが、報告を1件追加する。この件について今資料を配付するので所管より説明願う。
- 戸籍における100歳以上の高齢者について
- 伊藤部次長 本日急遽資料を配付させていただいた。いろいろ報道されている100歳以上の高齢者の所在確認については、8月10日開催の厚生常任委員会の中で、保健福祉部から口頭で滝川市における状況の説明をさせていただいたところだが、今般報道等で戸籍に係る部分での報道がされていることから、滝川市における現状について説明させていただく。
- 榎木課長 (別紙資料に基づき説明する。)
- 委員 長 説明が終わった。この件について質疑はあるか。
- 渡 辺 調査結果の2つ目だが、調査が全く不能となった対象者を消除するのはいいと思うが、その方がその後生きていたとかどこかで生活していたとか、あるいは別な方法で消除されていたとかといったことがないことを確認しているのか伺う。
- 寺崎主幹 確かに調査の結果、生存が確認できないということで消除した結果、後日死亡届が出てくるケースもまれにある。こうした場合は、戸籍の回復という処理をして改めて死亡の記載をするという手続になる。
- 委員 長 他に質疑はあるか。
- 窪之内委員外議員 ① 平成13年のときの調査対象者が60人ということで、このときの対象者も100歳以上だったのではと思うが、25人を消除したということで残りの35人については確認できたので手続を取らなかったのか伺う。
- ② 調査が全く不能ということで法務局の許可を得るためには、調査不能の証明とか一定の基準があると思うが、そうなった場合、法務局の許可はすぐおりののか伺う。
- ③ 17人の生存者の確認がされたというときに、住民票と戸籍は合っていると

思っていたのでこういう問題が出てくるとは思っていなかった。国などの指導もあるかもしれないが、こういう問題を今後防止するためには、何らかのシステムをつくっていかないといけないと思うが考えを伺う。

① 平成 13 年度に実施した対象者のうち削除になっていない方の理由についてだが、調査を進めていく上の条件として、戸籍はあるが戸籍に付随して住所を記載する附票というものがある。その附票に全く住所の記載がない戸籍が存在する。そういったもので 100 歳以上ということを対象に調査を進めるが、附票に記載がないということは、住民記録がどこにもない状況である。なぜそういう状況が起きるかという、想定になるが、戸籍というのは今までにいろいろな改正が行われてきており、昭和 32 年に戸籍法の大改正があった。それまでの戸主制度と言われるものから、夫婦を単位とする戸籍に改正されたときに戸籍を大幅につくり直した。その時代は、戦中を含んでいるので例えば戦時中の混乱の中で戦死していたが戦死の通知がない状態の方がいたとか、ブラジルとか中南米のほうに移住をする方が多くいたと聞いている。そういう方々は国外に転出するという事で戸籍を消すことはない。国外に転出するという届け出もその当時住民記録という制度上まだ明確ではなかったと思う。そのまま転出されて外国に住まれたまま日本へ戸籍の届け出がない状態で過ぎてきている方もいる。その中でブラジル等へ移住したのではないかという方、例えばしばらくたってから日本大使館を通して婚姻届、死亡届が、数年経過、場合によっては 10 年、20 年して届くというものもある。そのような方が戸籍上おられるということであれば、それ以外の方が高齢になっていたとしても、恐らくそちらに移住されたのだろうということで、死亡はしているのかもしれないが、届け出がない以上は削除することができないような状況で残っていることが考えられる。調査をしていく中でそういうことが判明した場合、親族等に調査をかけても親族等が高齢でそういう名前の親族は知らないとか、記憶があいまいになっていて調査が不能になってしまうが、聞いたことがあるということが少しでもあると、その段階ですぐに削除することにはならないという理由ですべてを削除しているわけではない。住民票上と一致していないということは非常に不可思議なことではあるが、恐らく昭和 32 年当時の大きな戸籍法の改正の時期以前から不明だった状態の方が今もそのまま残っているということだろうと思う。住民登録のような場合は、住民登録があれば必ず本籍地がどこか記載があるので、住民票を職権削除する場合は、必ず本籍地に通知をして戸籍の附票にもあわせて職権削除の記載をすることになるので、その場合は住所はなくなるが戸籍は削除にはならない。最終的に親族がどこかで死んでいることは聞いているとか、どこかで火葬したというふうに聞いたという状況がわかれば、親族に手続を取っていただくことになる。恐らく死亡診断書は書いていただけないので、そういった場合は申述書というようなものをつくっていただいた上で届けていただくことになる。それによって即削除になるかというところではなく、法務局の受理伺いというものをして法務局でも審査をした上で許可がおりてから削除の記載ができるという流れになっている。住民票のように実態がないからということで削除できるというような簡単な処理にはならない。そもそも居住の実態が全くつかめていないのが実態である。

③ 今後については、全国的に住民票と戸籍とで統合して見るが必要になると思うが、1 市町村でできることではないので国の動き等も見ていきたい。

- ② 許可がおきるまでの期間だが2週間から1カ月かかる。何日という決めはないが、今までの経過からするとそのくらいだと思う。
- 窪之内委員外議員 大体状況はわかった。報道ではそこの自治体の怠慢で放置してきたということで非難する形のものが多い。話を聞いてみるとやむを得ないというような状況も制度上あったと思うので、報道をするときには市民が間違っただ判断をしないような情報を提供していただきたいと思う。
- 委員長 他に質疑はあるか。(なし) この件については報告済みとする。ここで所管入れかえのため若干休憩する。再開は15時20分とする。
- 休 憩 15:10
再 開 15:20
- 委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。(12)について説明願う。
(12) 新滝川市活力再生プラン平成21年度実績報告について
(別紙資料に基づき説明する。)
- 橘部長 説明が終わった。質疑はあるか。
- 委員長 渡 辺
- ① P24、老人福祉住宅について、22年度の180万円はわかるが、来年度も同じ金額になっている。どのような計画になっているのか伺う。
- ② P29、中央老人福祉センターの入浴料について、太陽光発電は初めから使っていないということだが、今からでも再利用してお湯を沸かして100円に戻すことについての考えを伺う。
- ③ P54、敬老特別乗車証の関係だが、ワンコイン制になっての21年度の計画実績があったと思うがどうなっているのか伺う。
- 委員長 ① P24の老人福祉住宅の平成22年度、23年度の予算計上は、特記事項に書いてあるが議会側が出した修正案に対して負担の増額をしたという説明があったので、この質疑は削除してよいか。
- 渡 辺 ②、③についてのみ答弁願う。
- 委員長 所管より説明願う。
- 橘部長 ② 中央老人福祉センターのソーラーシステムは設置後一度も利用されていない経過がある。何とか有効利用したいと思っており、配線がどうなっているかなど勉強させていただきたい。
- ③ 敬老特別乗車証について、ワンコイン制は平成16年から始まって6年を迎えている。去年から市民会議を立ち上げようということで5回ほど開いて検討したがなかなか進まないのが現状である。というのも利用者からのアンケートでは、一部の方はなくすべきではない、一部の方は皆さん使っていないということで、いわゆる老人クラブ連合会と廃止派との議論が伯仲しているところである。2年くらい前から話は進んでいる。
- 委員長 他に質疑はあるか。
- 窪之内委員外議員 ① 中央老人福祉センターの太陽光パネルが一度も使われていなかった理由を伺う。部長はこれから配線等の調査をしたいと言われたが、入浴料の値上げがあった際に全く話題にはならなかったのか伺う。
- ② 敬老特別乗車証の関係で平成24年度実施を目指すということで報告があったが、これは新たな報告である。去年は22年度からやりたいということだったが、22年度当初は無理ということで、もしかしたら途中から何らかの実施をするかもしれないとのことだった。23年度ではなくて24年度からの実施を目指すということなので、実施の年度を確認したい。

橘部長 ③ 社会福祉事業団との関係で議会なりに何らかの資料的なものを提供できる見通しをいつごろと考えているのか伺う。

① 渡辺委員からも質疑があって一度も使われていないと言ったが、訂正させていただく。実は開設当初一度使った経過があり、いつからいつまで使ったかは今は答えられないが調査させていただく。申しわけなかった。

② 平成24年度と申し上げたが、23年度ということでおわび申し上げる。

③ 社会福祉事業団への事業移管、施設譲渡の関係について、タッグ計画では23年度までに方針を決めるとなっている。私どもとしても、来年に向けて譲渡したいという意気込みを持って数回協議している。しかし、現状進んでいかないう障壁もある。建物が非常に老朽化していることから、大修繕、建てかえ、機械更新等があった場合に受け入れた側の社会福祉事業団がうまく経営していけるのかという不安もある。社会福祉事業団内部でも役員体制を拡充したいという話もあり、いろいろな面でなかなか進まないのが現状である。本来であれば議会に提案する前に厚生常任委員会に資料を提出してお諮りしたいが、まだその段階ではない。話が詰まった段階で提案したい。

委員長 他に質疑はあるか。(なし) (12) については報告済みとする。(13) について説明願う。

金野課長 委員長 (13) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について
(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。(なし) (13) については報告済みとする。(14) について説明願う。

国嶋課長 委員長 (14) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について
(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。(なし) (14) については報告済みとする。(15) について説明願う。

菊井課長 委員長 (15) 平成22年度滝川市介護保険特別会計補正予算について
(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。(なし) (15) については報告済みとする。(16)、(17)、(18) について一括して説明願う。

佐々木部次長 (16) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について
(別紙資料に基づき説明する。)

佐々木部次長 (17) 中央保育所病後児保育室の開設について
(別紙資料に基づき説明する。)

佐々木部次長 委員長 (18) こんにちは赤ちゃん訪問事業について
(別紙資料に基づき説明する。)

酒井 説明が終わった。(16) は議案関連なので留意願う。質疑はあるか。
(18) について伺う。第2子以降の赤ちゃんが誕生した家庭を訪問することのねらいを伺う。説明にあったとおりの不安感をやわらげるといったこともあるかと思うが、例えば滝川市の子育てサービスなどが活用されていないといったことがあったのか。そうでなければ第2子以降を訪問するねらいがどこにあるのかわからないので伺う。第2子以降が生まれる方は、それなりにサービスなどもわかれている方が多いと思うが、そうした中であえて地域と進むことの意義について説明願う。

伊藤副主幹 今まで第1子は、保健センターの保健師が主に訪問していた。その中で第1子

なので一番気になるのは、お母さんの体の回復やお子さんの健康だったが、第2子以降については、気になる家庭や希望があった家庭しか訪問できていなかった。第2子以降は第2子以降なりの悩みが必ずあるはずである。そのときには大体子供の発達とかお母さんの体の回復などは把握しているが、上の子の赤ちゃん返りだとか、お母さんが2人を抱えることで過重になったということがあったので、保育士が行って悩みを聞くことで、上の子と一緒に遊んであげたりしてかわり方を教えてあげることもねらいにある。一番のねらいは全部を回りたいということで、保育士も一緒になって家庭を見守りたいということもある。子育て情報に関してもいろいろなところで発信はしているが、なかなかお母さんたちに受けとめられていない。子育て支援センターに来るお母さんも限られているという現実もあるので、この機会にいろいろな子育て情報を知らせていきたいと思っている。

委員長

他に質疑はあるか。(なし)(16)、(17)、(18)については報告済みとするが、菊井課長より先ほどの太陽光パネル関係についての報告がある。

菊井課長

中央老人福祉センターの太陽光パネルだが、昭和57年から平成13年ころまでは使用していたようである。ただ老朽化によりパネルや配管にひびが入るなどしてかなり修繕が必要になってきたことで、今現在は使用していない。

2 第3回定例会以降の調査事項について

委員長

別紙のとおり調査項目で調査をすることでよいか。(よし)第3回定例会以降の調査事項は別紙のとおりとする。

3 その他について

委員長

請願第8号については、8月25日に請願者並びに紹介議員より議長のもとに提出され厚生常任委員会に付託を受けたが、26日になって請願者から請願取下申出書、紹介議員から紹介取消申出書が提出されたので受理し、本請願については取り下げとなったので報告させていただく。

この件について何か質疑はあるか。(なし)報告済みとする。他に委員から何かあるか。(なし)事務局から何かあるか。(なし)

4 次回委員会の日程について

委員長

次回委員会は、正副委員長に一任いただくことでよいか。(よし)以上をもって第41回厚生常任委員会を閉会する。

閉 会 16:00